

令和6年度第5回森町地域公共交通会議 議事録

日 時 令和7年2月17日(月) 14:30～

場 所 森町役場 2階会議室

出席者 別添委員会名簿のとおり

概 要 以下のとおり

1. 開 会

2. 会長挨拶

- ・長瀬副町長より挨拶。

※森町地域公共交通会議設置要綱（以下、要綱という。）第5条第2項により、会長は森町副町長が務める。

3. 報告事項

①令和6年度第4回森町地域公共交通会議（書面開催）の報告について

- ・ 別途資料により説明

【伊藤委員】 当初予算が800万となっていたが、予算を超えた要因はあるか。

【事 務 局】 新規に車両を購入しているため、当初予算を超えている状況である。

② 森町地域公共交通バス「もりっくる」利用状況集計報告

- ・ 別途資料により説明

【深川委員】 砂原線、尾白内線の需要が多く、車両1台でカバーしきれない部分はどうか。

【事 務 局】 1台9人、2台体制で実施しており、それでもカバーしきれない部分は、企画振興課職員が別の町の車両で対応している。

【深川委員】 冒頭、マイクロバスを購入予定と仰っていたが、導入まではどのような予定か。

【事 務 局】 3月議会でも報告をし、令和7年10月に導入できるように進める予定である。

4. 議 事

① 今後の運行形態について（砂原線の運行形態について、駒ヶ岳赤井川線及び濁川線のルート変更について）

- ・ 別途資料により説明

【伊藤委員】 駒ヶ岳赤井川線のルート変更とのことだが、従来の運行時間から変更は生じるか。

【事 務 局】 試算段階では15～20分程度の運行時間増加が見込まれるため、JR等の接続、市街地施設への到着時間を概ね同様とすることを目的に、始発時間を早める予定である。

【深川委員】 濁川線のローソン立ち寄りが良いと思うが、利用者が分かりやすいようにバス停等を掲示し、安全性にも配慮する必要がある。

【事務局】 現在、バス停については適宜、入れ替えている最中であり、ローソンに掲示するものは分かりやすい表示となる予定である。

【深川委員】 国保病院のバス停が分かりにくい状況である。

【事務局】 来年度には、概ねのバス停が分かりやすいものとなる予定である。

【中澤委員】 砂原線について、年金支給日は非常に利用が多い光景をみており、良い形となっていると認識している。

また、砂原地区の移動状況をみていると、土曜日の午前中は、技能実習生の方の移動需要が多いと感じる。

【事務局】 3台目の予備車が運行したのが、運行日30日程度のうち20日以上稼働しており、若干想定外の部分もあり早急な対応が必要と認識している。

技能実習生の方の移動については、企業側で実施しているケースも見られるため、必要性も含めて前向きに検討させていただく。

【為国先生】 技能実習生は森町内でどれくらいの人数がいるか。

【事務局】 500人以上いると認識している。

【為国先生】 道内の他自治体でも企業対応している事例があるため、森町の状況について、ヒアリング等でニーズも含めて把握し、運行可能性を検討する余地があるかもしれない。

【伊藤委員】 町内のちゃっぷ林館でも送迎を出している事例があり、経営者側が中心に検討することも重要と思う。

【為国先生】 規模が大きいようであれば、企業にも出資いただきながら、運行することも可能と思われる。

【中澤委員】 土曜日の住民の足としても重要な部分であると認識している。

【伊藤委員】 砂原地区の高校生はどのように通学しているか。

【事務局】 鉄道もしくはバスで森高校への通学が実態としてある。

【伊藤委員】 濁川線は通学便があるため、同様の内容の検討も重要と思う。

【深川委員】 スクールバスの活用も有効と思われる。

【事務局】 持続可能性の観点から、町内の交通資源を最大限活用することも含めて検討が必要であるため、適宜報告・協議をさせていただく。

・本会議をもって、砂原線・尾白内線実証運行案について承認

②自家用有償運送の更新協議について

・ 別途資料により説明

【質疑応答なし】

③「交通空白」解消緊急対策事業について

・ 別途資料により説明

【質疑応答なし】

④NPO法人まちづくり支援センター 代表理事 為国 孝敏 氏 総括

- ・町内交通は順調に進んでいるところであるが、各委員からあったように微修正が必要となってきたと認識している
- ・技能実習生は公共交通の利用者として重要なファクターであるため、十分に検討の余地がある
- ・同様に、部活動の送迎について検討することも重要である
- ・町内交通がある程度整ったあとは、広域的な移動についても検討を進める必要がある
- ・生活圏を意識しながら、ラストマイルまでの移動をどのように構築するかが重要である
- ・新幹線延伸時期は伸びたものの、今後の展開を見据えて準備を進めていく必要がある

4. その他

【中澤委員】 森町～南茅部の路線は観光路線として重要と思う。

【為国先生】 新幹線、在来線ともに、大型のスーツケースでの移動が多く、一般的な移動に不便が生じている

最優先して取り組むことが重要ではないものの、なにがきっかけで人が増えるかがわからないため、下準備や動きを想定しておくことが重要である。

【岩橋委員】 道内JR路線においては、札幌～函館間を結ぶ特急北斗については全車指定席、荷物積載スペースの確保等の対応をしているところである。

【深川委員】 駅員の省人化のため、切符購入で困っている人への対応が難しい状況が生じることがあり、高齢者の方のJR乗り控えになる懸念がある。

5. 閉会